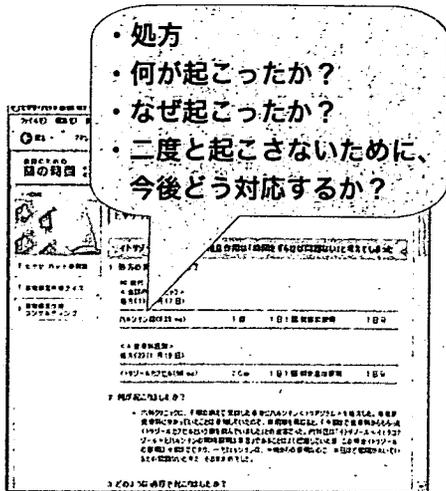
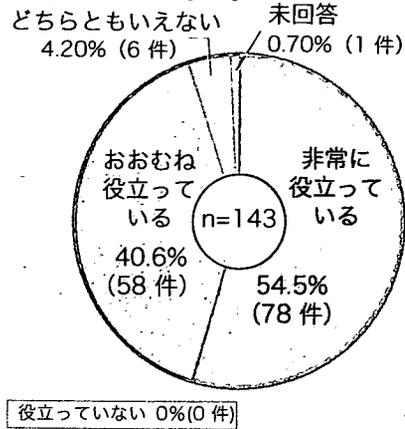


＜ヒヤリ・ハット事例コーナー＞

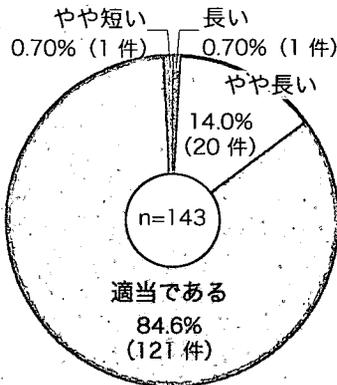


Q. ヒヤリハットコーナーの事例は日々の薬物治療の適正化に役立っているか。

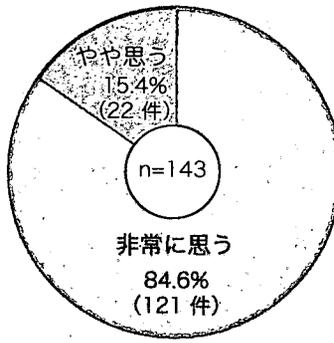


ヒヤリハットコーナーの構成に関して

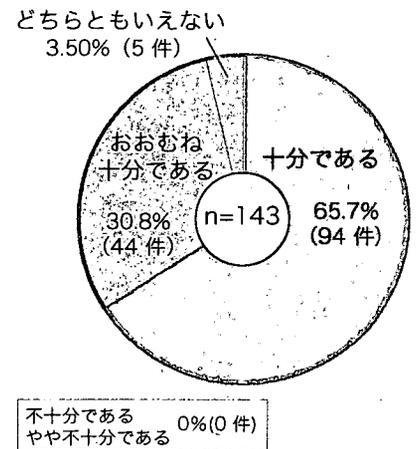
Q. ヒヤリハット事例の長さ (文章量)



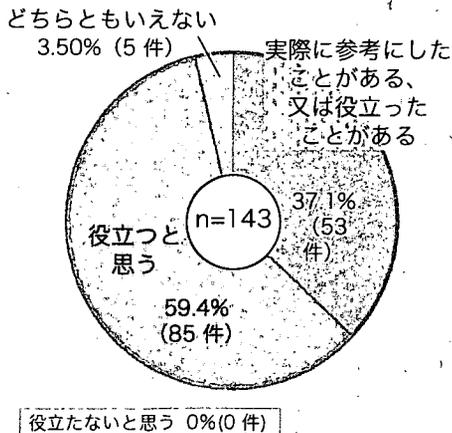
Q. 事例が「具体的な処方」から始まっているのはリアリティがあつてよいと思うか。



Q. ヒヤリハットが起こった要因解析は十分か。



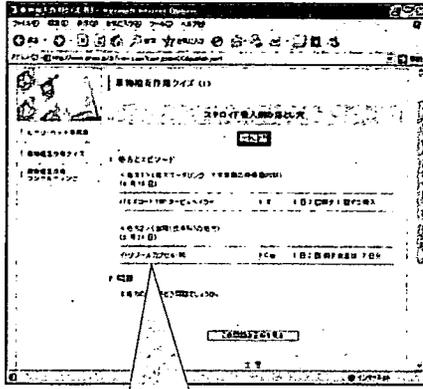
Q. 同様のヒヤリハットを二度と起こさないための対策は役立つと思うか。



Q. 印象に残ったヒヤリハット事例 (上位抜粋)

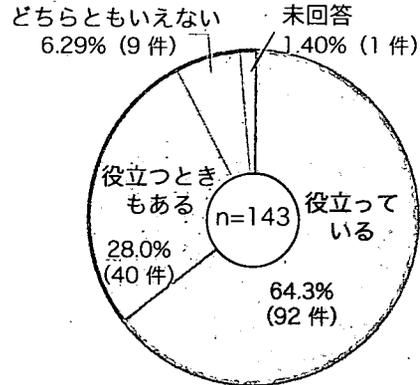
- ・「カネボウ当帰芍薬散料」と「ツムラ当帰芍薬散」、同じものと思こんだ医師、薬剤師 (15件)
- ・メルカゾール錠服用中の患者にイソジンガーグルを処方してしまった (11件)
- ・イトリゾールとハルシオンの相互作用は「時間をずらせば問題ない」と考えてしまった (10件)
- ・ニューキノロン系抗菌剤による痙攣誘発の危険因子 (8件)
- ・抗アレルギー剤による月経異常にも注意を! (7件)
- ・17歳の若年緑内障患者に PL 顆粒を処方、人は見た目で判断してはだめ! (7件)
- ・マレイン酸クロルフェニラミン d 体と dl 体では服用量が違うことを知らなかった医師 (7件)
- ・幸運にも歯科医師が発見してことなきを得たノルバスクによる歯肉肥厚 (7件)
- ・錐体外路症状などを起こす可能性ある薬剤が複数併用された (6件)
- ・モーステープ剥離後も注意しなければならない光線過敏症 (6件)
- ・抗不安薬、コンスタンからセディールへの急激な切替はコンスタンの離脱症状に注意 (5件)
- ・オメプラゾールの粉碎指示をだしてしまった (5件)
- ・プレタールとバロダスピリン服用患者がグレープフルーツジュースを飲用して起こった内出血 (皮下出血) (5件)

<薬物相互作用クイズ・コンサルティングコーナー>



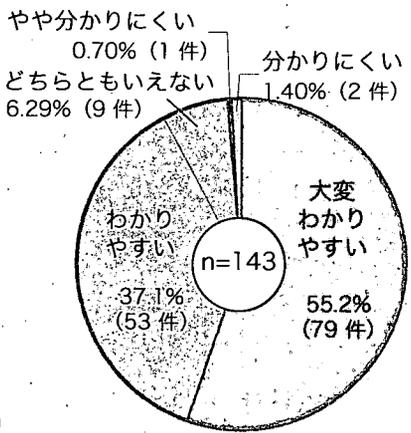
- ・処方とエピソード
- ・問題又は相談
- ・解答又は回答

Q. 相互作用コーナーの事例は日々の薬物治療の適正化に役立っているか。

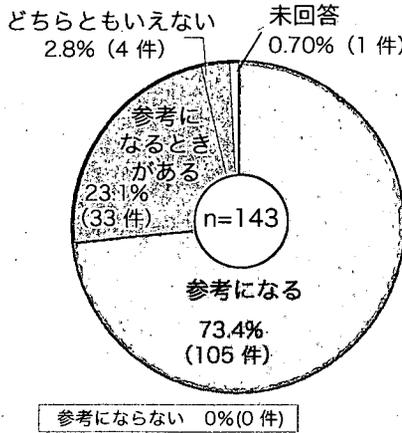


薬物相互作用クイズ・コンサルティングコーナーの構成に関して

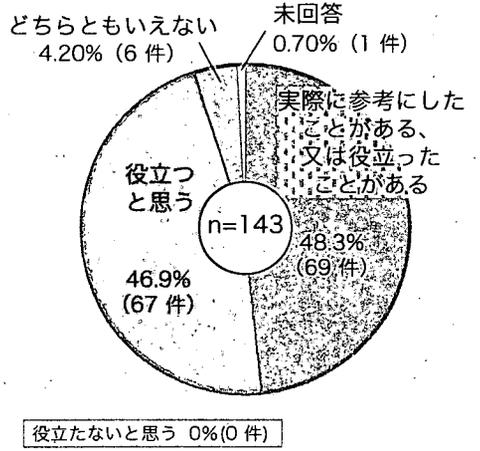
Q. 解答（又は回答）は分かりやすいか。



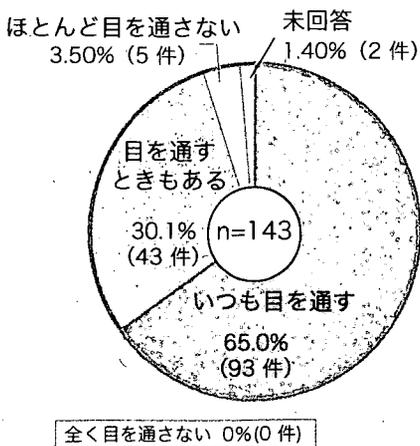
Q. 薬物相互作用のメカニズムについての解答・回答は参考になるか。



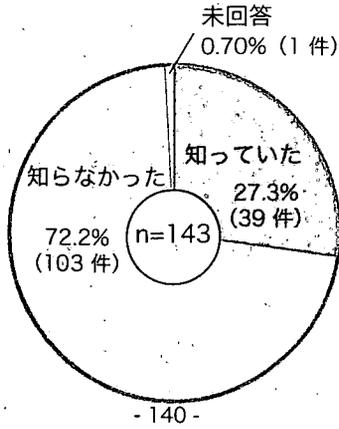
Q. 薬物相互作用の回避法についての解答・回答は役立つと思うか。



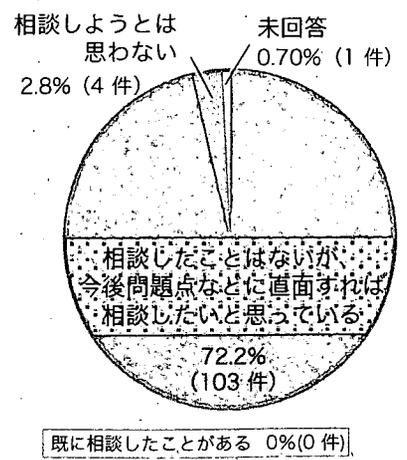
Q. 回答（又は解答）の「詳しい解説」には目を通すか。



Q. 相互作用コンサルに投稿コーナーがあることを知っているか。



Q. 相互作用コンサルへの相談（投稿）についてどう思うか。



第 2 回 ヒヤリハット事例に学ぶ

「薬剤業務リスクマネジメント」研究会プログラム（抜粋）

厚生労働科学研究

医薬品医療機器等レギュラトリーサイエンス総合 研究事業

「臨床事例を活用した実践的薬学教育研修システムの確立とその評価」

研究代表者：澤田康文

研究分担者：堀 里子

第 2 回

ヒヤリハット事例に学ぶ

「薬剤業務リスクマネジメント」研究会

2006 年 7 月 1 日 (日)

東京会場：東京大学大学院 薬学系研究科
総合研究棟講堂

福岡会場：福岡市薬剤師会会館

第 2 回

ヒヤリハット事例に学ぶ「薬剤業務リスクマネジメント」研究会
プログラム

発表時間 1 題 5 分 (全 35 演題)

午前の部 (7 月 1 日 (日) 9:30 ~ 12:05)

9:30 ~ 9:35 開会の辞

小野 信昭 (福岡市薬剤師会 会長)

9:35 ~ 9:55 オープニングリマーク

澤田 康文 (NPO 法人 DLM センター センター長、
東大院・情報学環・薬 教授)

<テーマ A : 処方せんチェックのリスクマネジメント-1>

9:55 ~ 10:35

座長：高木 淳一（福岡市薬剤師会）

【A-01】 シグマート、コニール、ベイスンと起床時同時服用となっていたことから疑義照会したところボナロンが処方中止となってしまった

田中 智枝（昭和病院）

【A-02】 患者は咳を訴えていないことからリン酸コデインは処方ミスだと誤判断した薬剤師

国平 由美子（双和薬局）

【A-03】 実は未処置だった閉塞隅角緑内障患者へ、抗コリン剤、ベシケアを投与

島崎 美希（双和薬局）

【A-04】 食後の低血糖を訴える患者にボグリボースが処方されて薬剤師、患者が混乱

石原 孝（大賀薬局和白店）

【A-05】 耳鼻咽喉科からアスペノン？アスベリンの処方ミスではないか？

高橋 伸明（サエラ薬局）

討論（15 分間）

<テーマA：処方せんチェックのリスクマネジメント-2>

10:35 ～ 11:15

座長：三木 晶子（東京大学・院薬）

【A-06】トレドミン服用中の患者にエフピーが処方された

奥田 勅子（サエラ薬局）

【A-07】ワーファリン治療効果の増強（INR 上昇）は他院で処方されたクラリス、ロキソニンとの相互作用か？

福見 奈緒子（阪神ことぶき調剤）

【A-08】鎮咳剤（ライトゲン T シロップ）中にマレイン酸クロルフェニラミンが含有されていることを知らずポララミンを処方した小児科医

高橋 伸明（サエラ薬局）

【A-09】エフピー錠が朝食後から夕食後へ処方変更されていたが、医師に確認せずにそのまま調剤してしまった

中島 佳彦（福岡市薬剤師会薬局七隈店）

【A-10】セロクエル錠を低用量で頓用処方したくて、後発品と勘違いしてセロクラール錠（20 mg）をオーダーしてしまった医師

早田 佳生（福岡市薬剤師会薬局七隈店）

討論（15 分間）

（11:15 ～ 11:25 休憩）

<テーマ B : 薬剤の調製・調合のリスクマネジメント-1>

11:25 ~ 12:05

座長：正岡 慶之（社団法人福岡市薬剤師会）

【B-01】冷蔵庫の中が整理できていなかったため剤形違いのデスマプレシンを調剤してしまった

本屋敷 佳代子（同仁薬局）

【B-02】冷蔵庫が鑑査台の下にあり、更に複合要因で規格違いのインスリンを調剤・投薬してしまった

本屋敷 佳代子（同仁薬局）

【B-03】アルサルミン細粒、1 束 7 シートを 10 シートと思いこみ、81 包も過剰調剤

須藤 智美（和同会薬局）

【B-04】ビソルボン錠 1 錠とビソルボンシロップ 1 ml を等価換算して調剤してしまっ

田中 泰羽（和同会薬局）

【B-05】ヘプセラ錠の未開封の瓶と間違っ

赤嶺 有希子（和同会薬局）

討論（15 分間）

（12:05 ~ 13:15 昼休み）

午後の部 (7月1日(日) 13:15 ~ 16:20)

<テーマB: 薬剤の調製・調合のリスクマネジメント-2>

13:15 ~ 13:55

座長: 田中 祥子 (東京医科歯科大学財団法人和同会薬局)

【B-06】 アシノンとバイアスピリン粉碎後の配合変化を発見

石原 孝 (大賀薬局和白店)

【B-07】 医師による手書きの処方修正不備に気づかず、乳児にフロリド
ゲルを21本も投薬してしまった

龍 大輔 (ニック調剤薬局塩浜店)

【B-08】 アリミデックスとカソデックスの外箱類似のため間違っ
て調剤棚に充填、調剤時に発見された事例

堤 麻理子 (福岡市薬剤師会薬局百道店)

【B-09】 クラリスドライシロップとフルーツ風味のゼリータイプ服用補助
食品との混合により苦味がでる可能性

井上 綾子 (福岡市薬剤師会薬局百道店)

【B-10】 同じ主成分でも、添加剤の違いにより禁忌薬が異なるヴァイデックス錠
とヴァイデックス EC カプセル

岸田 義博 (パピヨン薬局)

討論 (15分間)

<テーマB: 薬剤の調製・調合のリスクマネジメント-3>

<テーマC: 服薬指導・薬歴管理のリスクマネジメント-1>

13:55 ~ 14:35

座長: 堀 里子 (東京大学・院薬)

【B-11】 トリプタノール錠、処方オーダーリングシステムと薬局での粉碎可否の
判断が食い違って混乱

添田 弥久 (福岡市薬剤師会薬局七隈店)

【B-12】 賦形に用いた乳糖の口当たりが以前と違うことからチラーヂン末の
服薬ノンコンプライアンスに陥った患者

阿部 康一郎 (そうごう薬局壱岐店)

【C-01】 ダイアアップ坐剤の直腸内保持時間、途中排出対処法についての確に

答えられなかった薬剤師

渡邊 哲夫 (輔仁薬局湯布院店)

【C-02】 ホクナリンテープの後発医薬品へ不安をもった患者、それに的確に
答えられなかった薬剤師

渡邊 哲夫 (輔仁薬局湯布院店)

【C-03】 コンプライアンスを改善するために朝食後服用薬とアクトネルを一包
化した医師と、患者申し出により一包化指示を勝手に取り消してしま
った薬剤師

井上 知子 (福岡市薬剤師会薬局七隈店)

討論 (15 分間)

(14:35 ~ 14:45 休憩)

<テーマ C: 服薬指導・薬歴管理のリスクマネジメント-2>

14:45 ~ 15:25

座長: 森 千江子 (福岡市薬剤師会)

【C-04】 オルメテックによる副作用 (眠気) のために患者が自己判断で自宅
残薬のディオバンに変更

加納 美知子 (和同会薬局)

【C-05】 プレドニンの「1 日おきに服用」、「交互に服用」、「隔日に服用」
の指示、難しい服薬指導

木下 正和 (和同会薬局)

【C-06】 根拠の不明確なオメプラゾールの適応外使用で医師への疑義照会、
患者への服薬説明に困惑した薬剤師

四百刈 敦子 (エール薬局)

【C-07】 アーチスト錠の薬情の訂正不備、自宅での半錠指示などにより混乱
した高齢患者

赤嶺 美奈 (和同会薬局)

【C-08】 発売休止中「ランタス注カート 300」が病院の薬品マスター、新版の
薬価収載表にも残っていたことから医師・薬剤師が混乱

石橋 久 (福岡市薬剤師会薬局百道店)

討論 (15 分間)

(15:25 ~ 15:35 休憩)

<テーマC：服薬指導・薬歴管理のリスクマネジメント-3>

15:35 ~ 16:15

座長：富永 宏治（福岡市薬剤師会薬局七隈店）

【C-09】ボナロン 35 mg 錠服用後、210 分間なにも食べなかった患者

澤井 一（和同会薬局）

【C-10】「もったいない」からと言って、これまでインスリン注射剤の空打ち
をしたことがなかったインスリン治療歴 10 年以上の患者

田崎 恵玲奈（福岡市薬剤師会薬局七隈店）

【C-11】錠剤を服薬したことがない小児にテオドール錠を粉砕して
服用させた母親

正岡 慶之（まさおか薬局）

【C-12】「循環器系の薬は重要、胃腸薬は重要でない」と思いこんでいた患者
に起こったワルファリン関連のトラブル

田中 智枝（昭和病院）

【C-13】リザベンによる治療に満足していて多尿・頻尿の副作用を訴えなかった
患者、それをあまり問題視しなかった薬剤師

近藤 純平（そうごう薬局五香店）

討論（15 分間）

16:15 ~ 16:20 閉会の辞

一瀬 信介（文京区薬剤師会 会長）

平成 19 年度に育薬セミナーで取り上げた
ヒヤリハット解析事例の一覧

厚生労働科学研究

医薬品医療機器等レギュトリーサイエンス総合 研究事業

「臨床事例を活用した実践的薬学教育研修システムの確立とその評価」

研究代表者：澤田康文

研究分担者：堀 里子

平成 19 年度 ヒヤリハットミニ事例

<一般調剤>

番号	題名	会場	日付
1	複数の要因でスローケーのところウラリットを調剤してしまった!	東京	2007/4/12
2	オルメテック 20 mg 錠とミカルディス 20 mg 錠の取り違え、なぜ起こったか?	福岡	2007/5/17
3	アダラート L の錠数間違いに気を取られ、シベノール・シナールの別物調剤を見逃してしまった	東京	2007/5/17
4	赤っぽいキャップから赤っぽい液へ連想して点眼液の別物調剤	東京	2007/5/30
5	半夏厚朴湯の前医での服用法と医薬品外観の確認を怠ったため、処方ミスを発見できなかった	福岡	2007/9/5
6	味の違いで判明した賦形量の変化	福岡	2007/9/20
7	アモキシシリン細粒の用法用量不備にも係わらず別物調剤を予測できなかった	東京	2007/9/20
8	二剤の軟膏容器に貼るシールを逆に貼付して交付してしまっ	東京	2007/10/11
9	黄連解毒湯と桂枝茯苓丸を間違っ	東京	2007/10/18
10	ミラドール錠(50)のところミオナール錠(50)を調剤	福岡	2007/11/8
11	セレネース細粒およびアキネトン細粒が低用量で処方され、疑義照会を行ったところ起きた成分量と製剤量の勘違い	福岡	2007/11/15
12	塩酸モルヒネ、こんな少ない量飲めますか!	東京	2008/1/10

<処方せんチェック>

番号	題名	会場	日付
1	1 ヶ月間のダイドロネルの連続服用を発見	福岡	2007/4/12
2	ナルヒトンのつもりでセレスタミンが処方された	東京	2007/4/26
3	ムコダインで副作用歴のある患者に後発品のムコトロンが処方された	福岡	2007/6/14
4	成人女性にナウゼリン坐剤 10 mg が処方された	福岡	2007/6/28
5	潰瘍性大腸炎の患者に対するポリフルの処方を見	福岡	2007/9/13
6	用法指示間違いに気付かずに、誤った調剤をし、リボトリールによる昼間の眠気を引き起こしかねなかった事例	福岡	2007/10/18
7	皮膚科で 7 日を超えてアベロックスを処方された患者	福岡	2007/12/6
8	デパケン R 錠を半錠にできると思っていた医師	福岡	2007/12/13
9	リーマス錠に投与期間上限があると勘違いし、倍量処方した医師	福岡	2008/1/10
10	複合的な要因により入院中ユリノームを倍量処方されていた患者	福岡	2008/2/14
11	非専門医からの初回テオドール錠 77 日分処方により副作用が惹起	福岡	2008/2/21

12	「夕」のインスリンの単位数に「1日」合計単位数を誤入力した医師	福岡	2008/3/13
----	---------------------------------	----	-----------

<服薬ケア>

番号	題名	会場	日付
1	TS-1 の 1 日量を 1 回量と勘違いして倍量服用してしまった患者	福岡	2007/4/26
2	二度もタンナルビンが処方されていた牛乳アレルギーの患児	福岡	2007/5/30
3	同じ時間に同姓同名の親子患者が来局して混乱してしまった	東京	2007/6/14
4	薬歴をよく見なかったために患者の服用間違いが危惧された	東京	2007/6/28
5	6錠一包化のヒダントールF服用患者に5錠×2のヒートが交付されて混乱・不安	福岡	2007/8/2
6	2種類のPTPシートの錠数違いから患者に惹起した不安・混乱	東京	2007/8/2
7	アモバンによる苦味持続から口臭が気になった患者	東京	2007/9/5
8	頭痛＝脳梗塞の前兆と思いバイアスピリンを複数回服用	東京	2007/9/13
9	チラーヂンSを血圧の薬と勘違いしていた患者	福岡	2007/10/11
10	BDロードーズをインスリン製剤と間違っ注射していた患者	東京	2007/11/8
11	オパルモンから後発品への変更後PTPシートからの取り出しに困った患者	東京	2007/11/15
12	「お変わりありませんね」＝症状が改善しない？と判断した患者	東京	2007/12/6
13	リンデロン液の遮光袋の「眼・耳・鼻」の落とし穴	東京	2007/12/13
14	A病院の医師からB病院からもらっているフォサマックの副作用を説明され不安になって薬局に相談に来た患者	福岡	2008/1/17
15	患者の探している大きな薬とは？	東京	2008/1/17
16	SG顆粒と思い手元にあった食品の乾燥剤をのんでしまった	東京	2008/2/14
17	デュロテップパッチを貼付したまま岩盤浴に行こうとした患者	東京	2008/2/21
18	デパケンR錠を噛んで服用していた患者に適切な剤形変更を医師に提案できなかった	東京	2008/3/6
19	転がるアルファロールカプセルを追いかけ、服用できていなかった患者	福岡	2008/3/6
20	エチゾラムの後発品の法が先発品より睡眠効果が強かった患者	東京	2008/3/13

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

澤田康文, 大谷壽一, 堀里子, 三木晶子 著, 澤田康文 監修, NPO 法人医薬品ライフタイムマネジメントセンター 編. 「薬剤師のための徹底リスクマネジメント」, 232p, 南山堂 (2007.05)

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
澤田康文	ヒヤリハット事例に学ぶ	日経ドラッグインフォメーション	2007年 5 月号	43-45	2007
澤田康文	ヒヤリハット事例に学ぶ	日経ドラッグインフォメーション	2007年 7 月号	48-49	2007
澤田康文	ヒヤリハット事例に学ぶ	日経ドラッグインフォメーション	2007年 9 月号	47-48	2007
澤田康文	ヒヤリハット事例に学ぶ	日経ドラッグインフォメーション	2007年 11 月号	42-44	2007
澤田康文	ヒヤリハット事例に学ぶ	日経ドラッグインフォメーション	2008年 1 月号	43-45	2008
澤田康文	ヒヤリハット事例に学ぶ	日経ドラッグインフォメーション	2008年 3 月号	52-53	2008
澤田康文	「ヒヤリ・ハット」と「処方チェック」の実際 (68)	ふくおか県薬会報	20 (4)	247-253	2007
澤田康文	「ヒヤリ・ハット」と「処方チェック」の実際 (69)	ふくおか県薬会報	20 (5)	311-315	2007
澤田康文	「ヒヤリ・ハット」と「処方チェック」の実際 (70)	ふくおか県薬会報	20 (6)	405-411	2007
澤田康文	「ヒヤリ・ハット」と「処方チェック」の実際 (71)	ふくおか県薬会報	20 (7)	486-492	2007
澤田康文	「ヒヤリ・ハット」と「処方チェック」の実際 (72)	ふくおか県薬会報	20 (8)	552-561	2007
澤田康文	「ヒヤリ・ハット」と「処方チェック」の実際 (73)	ふくおか県薬会報	20 (9)	638-643	2007
澤田康文	「ヒヤリ・ハット」と「処方チェック」の実際 (74)	ふくおか県薬会報	20 (10)	718-722	2007
澤田康文	「ヒヤリ・ハット」と「処方チェック」の実際 (75)	ふくおか県薬会報	20 (11)	786-790	2007
澤田康文	「ヒヤリ・ハット」と「処方チェック」の実際 (76)	ふくおか県薬会報	20 (12)	822-826	2007
澤田康文	「ヒヤリ・ハット」と「処方チェック」の実際 (77)	ふくおか県薬会報	21 (1)	41-45	2008
澤田康文	「ヒヤリ・ハット」と「処方チェック」の実際 (78)	ふくおか県薬会報	21 (2)	107-112	2008
澤田康文	「ヒヤリ・ハット」と「処方チェック」の実際 (79)	ふくおか県薬会報	21 (3)	164-168	2008
澤田康文	東大・薬剤師会「育薬セミナー」	市薬ジャーナル (福岡市薬剤師会会報)	133	46-56	2007
澤田康文	東大・薬剤師会「育薬セミナー」	市薬ジャーナル (福岡市薬剤師会会報)	134	46-54	2007
澤田康文	東大・薬剤師会「育薬セミナー」	市薬ジャーナル (福岡市薬剤師会会報)	135	31-40	2007
澤田康文	東大・薬剤師会「育薬セミナー」	市薬ジャーナル (福岡市薬剤師会会報)	136	19-25	2007
澤田康文	東大・薬剤師会「育薬セミナー」	市薬ジャーナル (福岡市薬剤師会会報)	137	25-35	2008
澤田康文	東大・薬剤師会「育薬セミナー」	市薬ジャーナル (福岡市薬剤師会会報)	138	20-28	2008

※注 いずれも本研究の過程で作出した教育的臨床事例を提供したもので、研究成果そのものを取りまとめて報告したものではない。